NAGASE
株式会社ナガセビューティケア

Kirei News Letter
報道関係者各位

2026 年 11 月 9 日
株式会社ナガセビューティケア

【11 月 19 日は国際男性デー】
ナガセビューティケア、男性社員座談会を実施
～肌ケア・睡眠・筋トレ・夫婦のシェアコスメ・・・3 人が語る「自分らしい美容と暮らし」～

1966 年よりオリジナル化粧品・健康食品の製造販売を行う株式会社ナガセビューティケア（本社：東京都中央区 / 代表取締役社長：鳥江　孝治）は、11 月 19 日の「国際男性デー」に向け、営業現場で美容・健康の提案に携わる男性社員 3 名による座談会を実施いたしました。肌の悩みをきっかけに美容に出会った社員、美容を軸にキャリアを築いてきた社員、異業種から転職し子育てと仕事に向き合う社員――。異なる背景を持つ 3 人が、日々の暮らしに取り入れている美容・健康習慣や、そのこだわりを語り合いました。性別にとらわれず、一人ひとりが自分に合う美容を楽しむためのヒントをお届けします。

Kirei News Letter
キレイ ニュース レター vol.5



【ナガセビューティケア 企業パーパス】 “キレイ”の力で、笑顔を広げる。

私たちはお客様のパートナーとなり、美と健康を通して人々のキレイと笑顔のために活動をしています。多様なキレイの価値を認め合い、ひとりひとりの可能性を引き出したい。わたしたちはこれからもキレイを探究し、キレイの力で、笑顔の輪を広げていきます。

◆ 座談会に参加した 3 名のプロフィール（以下、敬称略）

	氏名（年齢）	所属 / 担当	経歴・現在の暮らし
	梅野（うめの） 優貴（ゆうき） （40 代）	第二営業部 静岡エリア　FS	百貨店での美容部員やブランド企画などの経験を持ち、メイクを通じて人の気持ちに寄り添うことを大切にしている。 休日でもコスメリサーチを欠かさない、根っからの美容男子。 マイベストコスメ：ナガセ ロズマリスト（クリーム）
	岡本（おかもと） 哲也（てつや） （30 代）	第二営業部 静岡エリア　FS	美容商材営業および Web マーケティングのキャリアを経て入社。 趣味は筋トレと晩酌。コンディション管理の一環として毎日のサウナ通いを 8 年間継続中。 マイベストコスメ：ナガセ　クレンジングクリーム
	藤井（ふじい） 洪至（ひろゆき） （30 代）	第二営業部 北陸関西エリア　FS	保険営業から美容業界へ転職。 2 人の男の子（2 歳・0 歳）の父親として、仕事と子育てに向き合っている。 マイベストコスメ：ナガセ　クレンジングクリーム

※FS（フィルドスーパーバイザー）：販売代理店の伴走者として、経営・活動支援・人材育成を支援する営業担当者。
※年齢・所属・家族構成等の情報は 2026 年 10 月 9 日のヒアリング時点のものです。

1. 美容を仕事にした 3 人の原点――「肌の悩み」「好きという気持ち」「人との出会い」

梅野：肌の悩みがきっかけで夢中になった、コスメの世界

美容業界に興味を持ったのは、高校生の頃に自分のニキビに悩んだことがきっかけでした。ドラッグストアで化粧水を探したり、ファンデーションを試したりしているうちに、いつの間にかコスメが持つ力にすっかり夢中になっていたんです。その後、大学に通いなが

らメイクの専門学校で 2 年間学び、卒業後は百貨店の美容部員になりました。当時はまだ男性がメイクをすることが珍しい時代でしたが、『自分の人生だから』と、周りの目はあまり気にせず、大好きな美容の道へ進むことを選びました。

岡本： 自分の「好き」を信じて選んだ、美容の仕事

仕事を選ぶとき、自分の中で最も強い軸だったのが美容でした。昔から美容は自分のアイデンティティとして強く存在していたんです。美容に関わる仕事なら、より自分らしく、誇りを持ってビジネスパーソンとしての第一歩を踏み出せるのではないか。そんな思いが、美容業界を志したきっかけです。その後、美容商材の営業やウェブマーケティングを経験し、30 歳を機にナガセビューティケァへ入社しました。

藤井：異業種から美容の世界へ。人との出会いがもたらした変化

女性が多い環境でのコミュニケーションには少し不安がありましたが、入社してイメージはガラッと変わりました。前向きで、人との繋がりを大切にする方が多いと感じました。また、男女問わず美意識が高く、若々しい方が多いことも魅力的に思います。自分自身も皆さんのように、いくつになっても若々しく生きていきたいと思います。

2. 自分に合う美容習慣を続ける工夫——「外見・体調・習慣」のアプローチ

梅野：部位ごとのケアと「無理をしない」ライフスタイル


毎日の紫外線対策

美容法：もともと T ゾーンのテカリと頬の乾燥が気になっていたので、お肌の部位に合わせてお手入れを変えるようにしてきました。今でも保湿と紫外線対策はとても大切にしていて、日焼け止めをこまめに塗り直すことも意識しています。ベースメイクやルースパウダーで整えるのも、私の毎日に欠かせない習慣ですね。

ライフスタイル： 日々の生活で一番大事にしているのは、『無理をせずに続けられること』です。食事もストイックにすべてを制限するのではなく、昼は好きなものを美味しくいただき、その分夜は少し調整するなど、自分なりのメリハリをつけて楽しんでいます。ウォーキングも同じで、その日だけ頑張りすぎるよりも、心地よく長く続けていくことを優先しているんです。

岡本：短時間の外出でも「日焼け止め＋日傘」、トータルコンディショニング

美容法： 基本的なスキンケアはもちろんですが、特に意識しているのは「日焼けをしないこと」と「肌をこすらないこと(物理的な摩擦を避ける)」です。日焼け止めや日傘を活用し、紫外線対策はできる限り徹底しています。近所のコンビニに行くときも、日焼け止めを塗って日傘を使います。



愛用しているトレーニングギア

ライフスタイル：30 代になってからは、体型や健康、心のコンディションを整えることも美容の一部だと考えるようになりました。ジムでの筋力トレーニングや有酸素運動、仕事後にサウナに行って心身をリセットする時間もつくっています。美容というと、スキンケアなど外見へのアプローチをイメージしがちですが、「美容・健康・体力・メンタルはすべてつながっている」と考えています。

藤井：学びながら試行錯誤する自分のケアと「家族への責任」

美容法：皮脂が出やすいことが悩みで、肌との付き合い方は今でも試行錯誤しています。汚れを落とすことに加え、うるおいを保つことを意識しています。クレンジングも日々のケアに取り入れています。これからも、自分に何が合うのかを学びながら続けたいです。

ライフスタイル：2 人目の子供が生まれたことをきっかけに健康でいることの大切さをより強く感じました。自分のためであると同時に、家族への責任として健康管理をしっかり続けたいと思います。

3. 睡眠・仕事・育児――それぞれの暮らしの整え方とワークライフバランス

梅野：睡眠を起点に一日を組み立てる（時差勤務制度活用）

毎日の中で特に大切にしているのは、仕事と睡眠のバランスですね。 私は時差勤務制度を活用して 8 時から 16 時 15 分まで働いているのですが、毎日しっかり 7 時間の睡眠をとれるよう逆算して、夜は 21 時に休み、朝は 4 時に起きる『早寝早起き』を心がけています。ぐっすり眠れるように、寝具にも少しこだわっているんですよ。 朝早く起きたら、まずはウォーキングをして心地よくセロトニンを分泌させ、ゆっくり朝食を作ってから出社するようにしています。こうして日々の生活をルーティン化することで、毎日あれこれ迷う時間が減って心にゆとりが生まれ、その分、仕事にも自然と集中しやすくなったと感じています。

岡本：仕事の充実が人生の充実につながる（仕事への全集中アプローチ）

仕事と生活を切り離すというより、人生全体をどう充実させるかを大切にしています。僕にとって仕事は、幸せを感じる大きな要素です。仕事に本気で向き合い、成果や社会への貢献を実感することが、大きな充実感につながっています。だからこそ、プライベートも気持ちよく楽しめる。そんな考え方を大切にしています。また日々の家事も、迷うことや手間を少なくする工夫（ドラム式洗濯機の活用やシンプルな食事）をしています。自分にとって大切なことに、しっかり時間とエネルギーを使えるようにしたいんです。

藤井：1 か月半の育児休暇を取得、夫婦で高める美容意識

2 人目の出産に合わせて、1 カ月半の育児休暇を取得しました。

毎日慌ただしく過ごしていましたが、家事や育児の大変さを経験できたこと、家族と色んな会話が出来たことも良かったと感じています。その時に盛り上がったのはやはり、美容の話でした。妻とはクレンジングや化粧水などのスキンケア（エコルフィーなど）を一緒に使っています。実際に仕事で学んだことを伝えると妻は興味津々。妻との仲も深まりました。



家族との時間は心の栄養

※ナガセビューティケアでは、産休・育休復帰率 100%をはじめ、男性社員の育休取得推奨、時短勤務（小学 3 年生まで）、時差勤務制など、多様なライフステージに応じた働きやすい環境整備を進めています。

4. 性別にとらわれず“自分らしい美容”を楽しめる社会へ

梅野：性別にとらわれず、自分に合う美容を

これからは、『男性用』『女性用』といった性別の枠組みにとらわれるのではなく、ご自身の肌の悩みや、本当に自分に合うものを基準に

して、誰もがもっと自由にコスメを選べるようになっていくといいなと願っています。

また、最近の個人的な関心ごととしては、心と身体を根本からゆっくり休める『リカバリーツーリズム』や、デジタルデトックスにとても惹かれているんです。まずは自分自身が心地よく整った状態で毎日を過ごすこと。そして、そこから生まれる健やかなエネルギーを、仕事を通じて周りの方や社会へ少しずつ還元していけたら素敵だなと思っています。

岡本： 美容と健康を、誰もが自分らしく楽しめる社会へ

美容や健康は、性別や年齢を問わず大切なもの。それらが日々の生活により華やぎや潤いを与えてくれること、その価値を、自分たちから発信・提供していきたいですね。個人的な目標としては、筋トレを続けてベンチプレス 100kg を目指しています（笑）。

自分自身が美容や健康を体現することはもちろん、目標を持って挑戦し続けることが、仕事のパフォーマンスやアウトプットにもつながると考えているためです。

藤井： 美容を通じて、自信と前向きな気持ちを届けたい

自分に合ったお手入れをすると肌は変わります。肌が変わると自分に自信が持て、心が晴れやかになります。

まだその感動を知らない方に、しっかり届けていきたいと思います。個人的な目標としては、仕事はもちろんですが、プライベートも全力で楽しむことです。家族で登山やバーベキューなどをしたいですね。

美容への入り口も、大切にする時間も、3 人それぞれ。一つの理想像に揃えるのではなく、各自の価値観や生活に合う美容と働き方を見つけること――。今回の座談会からは、ナガセビューティケアが目指す「多様な“キレイ”を認め合い、誰もが自分らしく輝く社会」のあり方が見えてきました。

◆ナガセビューティケアについて

ナガセビューティケアは、化粧品や健康食品のオリジナリティ溢れる商品開発力、高い品質、対面販売を通して多くのお客様との信頼、ご愛顧によって支えられ、今年創業 60 年を迎えました。対面販売事業では、美容と健康面における専門教育を受けたビューティコンサルタントが、お客さまの抱えているお悩みに寄り添い、スキンケア・メイク・健康・美容食品をご提案しています。商品やサービスだけにとどまらない、人の輪が広がる事業を核として「“キレイ”の力で、笑顔を広げる。」活動を通して、地域社会に根差した活動を行っています。

【会社概要】

株式会社ナガセビューティケア
会社所在地：東京都中央区日本橋小舟町 5 番 1 号
代表取締役社長：鳥江　孝治
電話番号（代表）：03-3665-3617
サイト URL：https://nagase-bc.jp/
事業内容：化粧品の製造販売・健康食品の販売業
資本金: 110,000,000 円

<この件に関するお問い合わせ先>
株式会社ナガセビューティケア
お問い合わせにつきましてはメール(pr@nagase.co.jp)へご連絡を頂けますようお願い申し上げます。
株式会社ナガセビューティケア　広報担当：及川、中澤（080-2525-1721）